

オビツ11サイズ二人掛けシェル型ソファ製作マニュアル(ワークショップ用)

【キット内容】

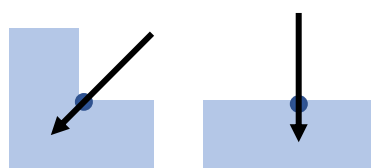
- ・スタイロフォームの下地(完成済)
- ・綿付き型紙(カット済)
- ・台紙(カット済)
- ・脚セット(こげ茶、ベージュ、赤、緑、黄、ピンク、オレンジから1色)
- ・布用型紙(2枚) → 持ち込み布の裏側に矢印を合わせて貼り
各パーツの外周を切り抜く
- ・底布(ダブルガーゼのストックから1枚)
- ・製作マニュアル(ワークショップ用)

【ご用意いただく用具、資材・消耗品】

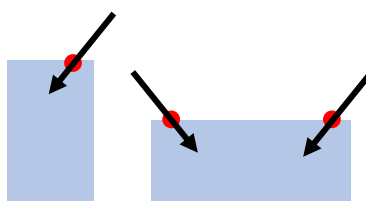
- ・ハサミ
- ・ヘラ(スパチュラ等各種、布の差し込みに使用)
- ・目打ち(脚の取付け位置の穴明けに使用)
- ・木工ボンド(脚の固定に使用)
- ・両面テープ(綿型紙、台紙の固定に使用)
- ・マスキングテープ(綿の固定に使用)

スタイロフォームの下地には線が引かれていて、線の上からカッターで深さ約7mmの溝が切られています。線には赤い線と青い線があり、それぞれ溝を切る方向が異なります。

<青い線の切り方>



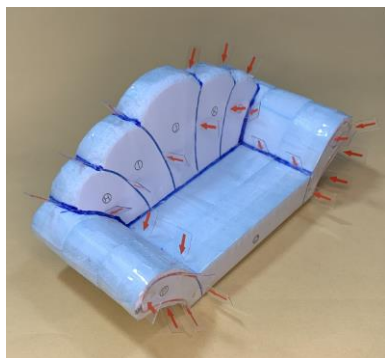
<赤い線の切り方>



下地の端に近い赤い線はまっすぐ切ると布を差し込んだ時に下地がめくれてしまうので、内側に向けて斜めに切っています。

下地にヘラを差し込んで、何か所か溝の方向を確認してみてください。

実際に布を張るときには、溝は布に隠れて見えませんから、ヘラを差し込んで、あらかじめ溝の場所、方向、深さをたびたび確認しながら作業すると綺麗に仕上げることができます。



[下地]



[ヘラ]※

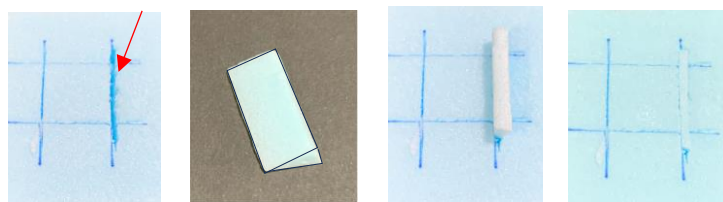
※ワークショップでは①ミネシマ(Mineshima) 細工ヘラ TM-102、②タミヤの調色スティックを加工した自作品、③木目込み細工用ヘラをご用意しています。スパチュラやコーキング用ヘラを使われる方もおられます。

綿型紙と布型紙の番号順に綿を挟みながら布を溝に挟んで張り込んでいきます。

- (1) 背板裏
- (2) 背板表
- (3) 肘掛左
- (4) 肘掛右
- (5) 座面
- (6) 肘掛左前(綿の前に台紙を貼る)
- (7) 肘掛右前(綿の前に台紙を貼る)
- (8) 底(布のみで綿なし)

<レスキュー>

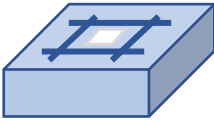
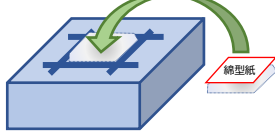
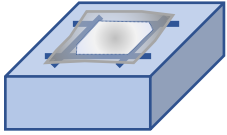
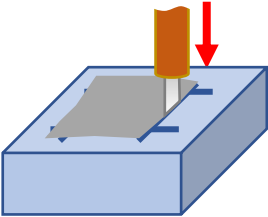
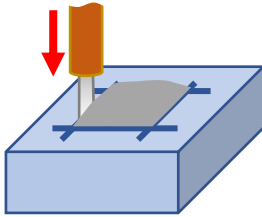
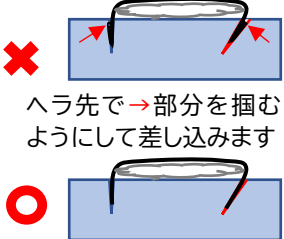
布を張っている途中で溝が広がり過ぎて布が抜けてしまう状態になった時には、余ったスタイロフォームをクサビ形に切って広がった溝に埋めると、支持力が回復します。



最後に目打ちで底に4か所穴を明け、脚の先端に木工ボンドを少量つけて脚を差し込みます。

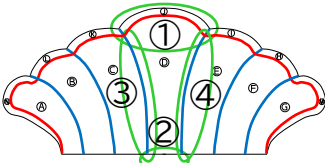

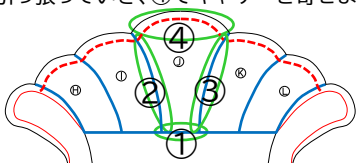
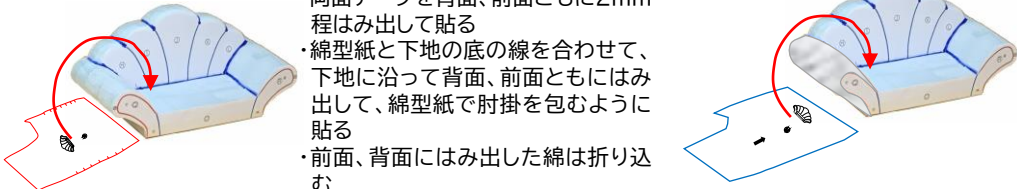
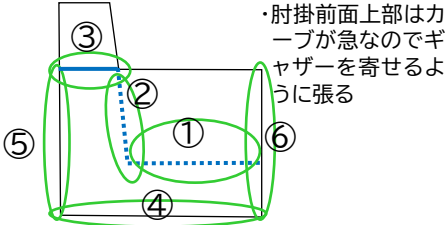
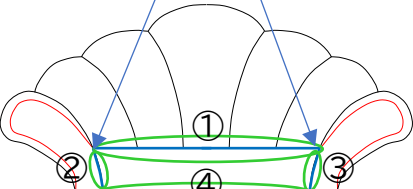
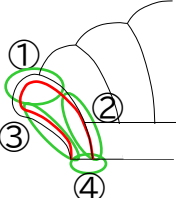

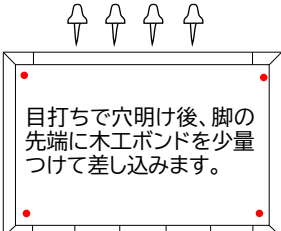
脚のがたつきを調整して完成です。(カタカタ音のする脚ではない方の脚を押し込んで調整します)

布を張る手順

<p>(1)張る区画に両面テープをつけます。</p> 	<p>(2)綿パーツの紙をはがさずに、区画の線にかからないように、型紙を裏返して綿を上に向け、型紙の側を貼り付けます。</p> 	<p>(3)布パーツの紙をはがして、区画の上に布をかぶせます。</p> 
<p>(4)差し込み位置の周辺を指で押さえながら布の端をヘラの先で挿むように切れ目に布を差し込みます。赤い線の切れ目はとくに差し込み方向に注意してください。</p> 	<p>(5)一区画の周囲すべての切れ目に布を差し込みます。 余った布が出る時は一周すべて差し込んでから切り落として布の端を差し込みます。</p> 	<p>POINT 切れ目の内部で布が二重にならないように注意してください。</p>  <p>× ヘラ先で→部分を挿むようにして差し込みます</p> <p>○</p>

・各区画は一周ぐるりと布を差し込み終わってから、余り布を切って全体がピンと張るように全体を調整します
・1区画全体がシワなく、たるみなく、ピンと張った状態にするのが目標です。

各区画の作業手順 ①, ② …は布張りの順序を示しています。

<p>(1)背板裏 A~G</p> <p>①→②で縦方向を張ってから、③→④で横方向にたるみを取っていくイメージです。</p> 	<p>(2)背板表 H~L</p> <p>綿のつなぎ目の段差が気になるときは、マスキングテープを貼ってください。</p> 	<p>・①は深めにしっかり差し込み、②、③は下から上に引っ張りながら、せり上げるように差し込みます。表側をしわなく張って、余り布を後ろ側に引っ張っていき、④でギャザーを寄せます。</p> 
<p>(3)(4)肘掛左、右の綿型紙、布型紙の下地への合わせ方 M、N</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・両面テープを背面、前面ともに2mm程はみ出して貼る ・綿型紙と下地の底の線を合わせて、下地に沿って背面、前面ともにはみ出して、綿型紙で肘掛を包むように貼る ・前面、背面にはみ出した綿は折り込む 		<p>・綿型紙と同様に画像のような配置で布型紙を置く ・紙をはがした後で綿型紙と同様に肘掛けを包むように下地にあてる</p>
<p>(3)(4)肘掛左、右 M、N</p> <p>・肘掛前面上部はカーブが急なのでギャザーを寄せるように張る</p> 	<p>(5)座面 O</p> <p>奥から手前へ</p> 	<p>(6)(7)肘掛左前、右前 P、Q</p> <p>台紙、綿の順で貼付けてから布を張ります。</p> 
<p>(8)底(布のみで綿なし)</p> <p>全面に両面テープを貼って布を貼り付け後に周囲を差し込みます。</p> 	<p>(9)脚の取付け</p>  <p>目打ちで穴明け後、脚の先端に木工ボンドを少量つけて差し込みます。</p>	<p>完成</p> 